

大津町のお米が地下水を育む！

真木地区に水田オーナーが集合

6月8日、真木地区の農家と熊本市内の5企業・団体が協定を結び、地下水を育む水田オーナー制度事業の田植えが実施されました(くまもと地下水財団主催)。旧真城小学校に集合した事業の関係者は100人以上。地元農家の指導を受けながらの田植えは、たくさんの笑顔と笑い声で溢れました。秋には稲刈体験も実施予定です。



大津の水田は豊かな地下水環境の保全に大きく貢献し、私たちの生活水にもなっています。皆さん、大津のお米をたくさん食べましょう！

第2回白川中流域地下水啓発講座を開催

第2回白川中流域地下水啓発講座

7月13日、第2回白川中流域地下水啓発講座が町生涯学習センターで開催されました。阿蘇火山博物館学術顧問の須藤靖明さんから阿蘇火山噴火により、雨水が浸透しやすい地質を形成し、ミネラル豊富な地下水を育むことについて説明がありました。今回の講座は8月10日(日)に町生涯学習センターで開催されます。ぜひご来場ください(入場無料。どなたでも参加できます)。



当日は約70人の参加があり、地下水の成り立ちなどについて皆さん熱心に勉強していました

「生ごみは宝物！～元気野菜で子どもたちが変わる～」

生ごみを使った野菜づくり・食育

6月21日、講演会「生ごみは宝物！～元気野菜で子どもたちが変わる～」が町交流会館で開催されました。当日は講師の吉田俊道さんから、子どもたちが生ごみを使って土作りを行い、野菜を育て、調理して食べる体験を通して、いのちのつながり、大切さを感じる心を育てることの話がありました。また、稲葉敦子さんから事例発表がありました。



環境学習、食育を通じて成長する子どもたちの姿について、ユーモアも交えた講演が行われました

「人権の大切さ」について考える

第23回大津町人権・同和教育推進大会

7月12日、「第23回大津町人権・同和教育推進大会」が町文化ホールで開催されました。今年は「人権教育指導員を経験して」と題し、県人権教育研究協議会社会教育部会事務局長、一般社団法人水俣病を語り継ぐ会の坂本みゆきさんが講演を行いました。また、フォークソンググループ「四つ葉のクローバー」によるアトラクションも行われました。



坂本さんは自分の経験などを通して、ハンセン病や部落差別に関する問題、そして水俣病などについての思いを語りました

プロのダンスを学んだよ！

劇とダンスのワークショップ

7月14日、米国オハイオ州出身で、エデュティナー[※]のマイカ・ハインさんによるワークショップがオックスプラザで行われ、約20人が参加しました。これは、町国際交流員(CIR)ブレイクさんとマイカさんが友人という縁で実現したもので、参加者はマイカさんの体験談を聞いたり、劇団員が実際に行うイメージトレーニングを体験したりして、夏の夜を楽しみました。



マイカさんの指導を受け、楽しみながら体を動かす参加者たち
※エデュティナー：「educator」と「entertainer」を合わせた造語

歴代優勝者の競演

「世界和太鼓一人打ちコンテスト」グランドチャンピオン大会

6月15日、世界和太鼓一人打ちコンテストの第45回記念グランドチャンピオン大会が長野県で開催され、「大津太鼓清流会」の高見大志さん(引水)が最優秀賞の総務大臣賞を受賞しました。歴代優勝者が競うグランドチャンピオン大会には、高見さんを含む4人が出場。直径2メートルの平胴太鼓で表現力や独創性を競いました。



最優秀賞受賞の報告に役場を訪れた高見さん[※]

地域の安全安心に貢献

平成26年度大津地区防犯協会連合会表彰

7月2日、平成26年度大津地区防犯協会連合会定期会が大津警察署で開催されました。

その中で防犯功労団体・功労者に対して表彰が行われました。これは地域の安全安心に貢献している団体・個人を対象に表彰されるものです。町からは建山義徳さんが受賞しました。



表彰状を受け取る建山さん

自転車の二重ロックを呼びかけ

二重ロックの日

6月26日、「二重ロックの日」にちなみ、大津町セーフティーパトロール隊や日吉が丘団地防犯パトロール隊、大津警察署員、町職員などがJR肥後大津駅前まで自転車やオートバイの施錠を呼びかけるチラシなどを配りました。参加者の皆さんは駅の利用者一人一人に声をかけながらチラシを手渡していました。



自転車やオートバイの盗難を防ぐため、二重ロックを心掛けましょう